

令和3年度の教育活動等に対する学校評価書

令和4年 4月28日

学校法人島田中央学園 認定こども園伊久身幼稚園長
 学校法人島田中央学園認定こども園伊久身幼稚園学校関係者評価委員長

杉岡 弘巳
 清水 貢

1 幼稚園の教育目標 「元気に遊ぶ子」

- 2 本年度の重点目標（目指す姿）
- ・自分で考えのびのび表現できる子
 - ・だれとでも遊び、思いやりのある子
 - ・夢中になり、力いっぱいがんばる子
 - ・良い生活習慣を身につけている子

3 幼稚園評価・保護者評価／自己評価

<評価基準> A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった

(1) 教育目標『元気に遊ぶ子』達成度評価

目指す姿	具体的なあらわれ	評価		自己評価 ◎…よくできていること △…もう一歩伸ばしたい力	学校関係者評価	
		幼稚園	保護者			
知 自分で考え、 のびのび表現 できる子	自信を持って表現する	90	95	A	◎毎日の生活の中で、人の話をよく聞くことと、自分の気持ちを言葉に出して伝えることを繰り返し伝えたことでよく育った。(特に年長児は、話し合う力がついた。) ◎異年齢同士が関わって遊ぶ中で年長児が年少児に生活のルールや遊びの楽しさなど教えてくれ、学年を超えた縦のつながりが本年度も充実していた。(異年齢保育) ◎コロナ禍の折り、園外保育が十分にできなかったが、小動物の飼育や花や野菜の世話をする機会を増やしたことで身近な自然に対しての関心の目が育った。(季節を肌で感じた。) △物を大切に使い、整頓して元の所に返す力を引き続きつけていかなければならない。SDGSも育て、知らせていきたい。 ◎挨拶ができることや人への思いやりが育っている。	A
	人の話を聞ける	90	90	A		A
	自分の思いを言葉で伝える	90	90	A		A
	明るく表情豊かである	90	95	A		A
情 だれとでも遊び、 思いやりのある子	友達と仲良くできる	90	90	A		A
	人の気持ちを考える	80	85	A		A
	優しい心を持つ	80	90	A		A
	動植物に関心が持てる	85	85	A		A
意 体 夢中になり、 力いっぱい がんばる子	思い切り身体を動かして遊ぶ	90	90	A		A
	やり通そうとする	85	85	A		A
	自分から取り組む	85	85	A		A
躰 良い生活習慣を 身につけている子	あいさつができる	90	90	A		A
	物を大切にする	80	80	B		B
	片づけができる	75	80	B		B
	約束やルールを守る	90	90	A		A
総合評価		86	88	A		A

- ・本園度も一学期から「コロナ対策」の一年間であった。「コロナウイルスに感染しない様に!」「コロナウイルスを園に持ち込まない様に!」という姿勢で取り組んで過ごした。他園での感染情報を聞くと、少しずつこの広がりには抑えられない状況を引き起こすということもあり、感染後の対応を最小限に留める努力をしていきたい。(対応のマニュアル) また、感染した保護者や職員への偏見などが無い様に努めていかなければならない。(令和4年度も引き続き対応)
- ・コロナ禍で、園外保育や他園や小学校との交流などできなかったことが寂しかったが園内での保育を充実させる様に努力した。

(2) 教育活動・教育内容満足度評価

項目	内容	幼稚園職員	保護者	自己評価	考察	学校関係者評価
保育計画・教育課程	年齢に応じた豊かな体験の場や行事などを設けている。	80	90	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標『元気に遊ぶ子』を中核に、本園の教育課程を基本にし、「幼児期の終わりまでに育てたい姿10の姿」を目標にして、保育計画を進めることができた。また、少し課題のある子の対応など、教師間の連絡を密にして取り組むことができた。 また、2号保育（長時間保育）の子どもへの対応は常に教師間の連絡（チーム保育）を大切に行うことができた。 ・今年度も「コロナウイルス感染拡大防止」の為に他園・他校との交流ができなかった。情報のみの交流会を設定した。 	A
	子どもの興味、関心に基づく遊びや活動を工夫している。	80	90	A		A
	周囲の田畑・山・野原などの自然を生かし、草花や虫に触れ合う自然体験や芋掘り、野菜作りなどの勤労生産体験を行っている。	80	85	A		A
	異学年の交流、島田中央幼稚園・みどり子ども園・伊久美小・神座小・川根小との交流、地区の方々との交流を取り入れる活動を行っている。	70	80	B		B
教育環境の構成	幼児が安全で心地よく過ごせる、清潔感のある環境を整えている。	90	90	A	<ul style="list-style-type: none"> ・木の実や木の葉などを利用して自然環境を意識した制作物に積極的に取り組むことができた。（リース製作・どんぐりゴマ・セミの抜け殻探し・葉っぱの王冠作り・川の石のペイント）子ども達の「作ってみたいな！」の気持ちを大切にして素材の収納の位置やマジック・ポスカの取り出しやすい収納場所など教師間で相談し工夫した。 ・給食の時など密を避け、パーティションを利用した。（パーティションは常に除菌） 	A
	幼児がそれぞれの興味や関心、能力に応じて、全身を使って伸び伸びと活動することができる環境を整えている。	90	90	A		A
	幼児の発想を柔軟に取り入れ、季節の変化や子どもの実態に配慮して装飾や掲示を考え、保育室の環境を整えている。	90	90	A		A
	遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量を配慮して用意している。	80	90	A		A
表現力の育成	幼児が言葉で伝え合う場を、学年に応じて位置づけている。（当番活動・誕生会・行事など）	90	90	A	<ul style="list-style-type: none"> ・当番活動・誕生会・発表会などを通じて自分の気持ちを言葉で伝える機会を多く設けたことで、友達の気持ちを聞く力と話し合う力がついた。（語彙が増えた。） ・コロナ禍の折り、園児の活動に制限があり、遠足や夏祭りなどができなかったが、蔵書を増やし、絵本の貸し出し回数を増やし、絵本と子どもとの関わりを増やした。 	A
	幼児が言葉で伝えなくなったり、伝え合う喜びを味わったりするような心を動かす体験をもつことができるように配慮している。	85	90	A		A
	幼児がさまざまな表現を楽しみ、表現する意欲を充分に発揮させることができるような環境を整えている。	90	90	A		A
子供理解・生活指導	子どもの話をよく聞き、気持ちに共感したり、一緒に遊んだりしている。	90	90	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子や健康状態など園での様子や家庭での様子などお互いに聞くことができた。引き続き園児理解を深め、これからは保護者の期待に答えていきたい。 ・子どもひとりひとりの良さに気付くことができる様に教師間の連携を密にして、お互いにアドバイスができる様にした。担任の目だけでなく複数の保育教諭の目で見ることにより、クラス経営にもヒントが生まれることがわかった。（理解と協力） 	A
	子どもひとりひとりの良さを認めるようにしている。	90	95	A		A
	子ども同士の関わりの姿をとらえ、トラブルに対して適切に対応している。	85	85	A		A
	子どもの心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、関わり方はしていない。	95	95	A		A
	問題が起きたときには、専門家の意見なども取り入れ、家庭との連絡を密にして、理解と協力を得て適切に対処している。	90	95	A		A
健康・安全	計画的な避難訓練や安全点検を行い、園児の安全管理に努めている。	90	90	A	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の数を増やした。（地震・火事・水害）しかし、園舎裏の工事に伴い園庭を使用できない時もあった。予告なしの避難訓練でも子ども達は落ち着いて行動ができた。おはしものの約束が子ども達に浸透している。（安全な場所も理解） ・幼児の健康診断・身体測定など定期的に行い健康管理に努めている。朝の検温・うがい・手洗い・保育室の換気は引き続き注意し行っていきたい。（コロナ対策） また、保護者にも情報発信していきたい。 	A
	危険な個所がないか、危険な遊びをしていないか、常に注意している。	90	90	A		A
	地震などの自然災害に対する防災対策が整っている。	80	80	B		B
	万一事故やケガが発生した場合は、保護者に連絡をとり、医師にみてもらうなど適切な処置を行っている。	90	90	A		A
	環境衛生の維持や子どもの体調把握に努めたり、定期的な健康診断・身体測定を行ったりして、子ども達の健康に配慮している。	90	95	A		A
保護者への対応・啓発・情報発信	個々の子どもの様子は、保護者に直接話しをしたり、電話・連絡帳などを使ったりして、相互に伝え合っている。	95	95	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園の様子・クラスの様子・子どもの様子などは、園だより・クラスだより・個々の連絡ノート（園児用）で知らせている。また、ホームページでの園児の様子（遊び）の写真を記載している。各クラスの遊びの様子や各行事の取り組みなど毎月発信している。文章だけでなく、写真で園の様子が解るので喜ばれている。 ・保護者からの相談は、教育相談の日を設けている。相談の希望者に誠意を持って対応することにより、保護者が笑顔になって帰ってくれることがうれしい。 保護者は子育てに不安を感じている方が多く、コロナ禍でもあり保護者同士の意思疎通の機会が減少しているのが要因の場合もあり…対策が必要であると感じた。 	A
	学年・学級だよりを通して、クラスや子どものあらわれや成長、自分の考え方、保育のポイントなどを積極的に知らせている。	90	95	A		A
	保護者からの相談には、誠意を持って対応し自分の考えをきちんと話し保護者の話を心を開いてよく聞くようにしている。	90	90	A		A
	差別をしたり、先入観をもったりすることなく、園の全ての保護者に対して親しみを込めた挨拶や会話、対応を心掛けている。	100	100	A		A
	幼稚園の教育方針や教育活動等について、保護者にわかりやすく説明して、保育参観等の子ども様子を知らせる機会を設けたりして、幼稚園での様々な行事での子ども達の活動の様子などをお便りやHPで知らせている。	90	90	A		A

(3) 改善策と令和4年度教育構想	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度も、「コロナ対策」の為に各行事の規模の縮小・時期の変更・行事の在り方の検討など行いながら進めた。保護者も各行事の人数制限などよく理解してくれたので、進めやすかった。 ・保護者への情報発信も適確に行った。コロナ禍での濃厚接触者の自宅待機の日数やPCR検査など、マニュアルがどんどん変わっていく状況の中、学園全体で「保健だより」が出たことで、保育教諭・保護者ともよく解り助かった。 ・令和4年度も研修会や研究会に積極的に参加し、現在以上に保育教諭としての資質を高める努力をしたい。リモートによる研修は特に園で受けられて（移動しない・時間の節約・感染予防）便利なのでより多く参加したい。 ・園目標「元気に遊ぶ子」を中核にし、小学校就学までに身に付けたい力（幼児期の終わりまでに育てて欲しい姿）として、 ア…健康な心と体 イ…自立心 ウ…協同性 エ…道徳性・規範意識の芽生え オ…社会生活との関わり カ…思考力の芽生え キ…自然との関わり・生命の尊重 ク…数量・図形・文字への関心・感覚 ケ…言葉による伝え合い コ…豊かな感性と表現 …10項目がある。各項目の要点をまとめると共に園での生活（遊び）の何が何を育てるのかをより解りやすい様に見直して取り組んでいきたい。（年少・年中・年長の各学年での育ちを大切にし {時に振り返る}）次に繋げる。 ・少し成長の気になる子への対応は、園の園長・主幹・コーディネーター・担任がよく話し合い、色々な方向から捉え保護者ともよく話し合い、必要な場合には市の機関や医療機関などをも積極的に利用していきたい。園内だけでなく保護者とも風通しのよい雰囲気の中でより良い支援を考えていかなければならない。（その子にとって一番生活しやすい学び場・成長できる所） ・平成28年からスタートした園舎裏の壁の工事が引き続き続行である。水路工事（側溝）に於いては、園内に工事車両も入るので、園児の安全面には特に注意していかなければならない。（工事担当者との工程会議で、工事進行状態や安全面など把握する。） ・「ヒヤリハット」と感じた事例や「安全な散歩」について紙面で書き残し、次への参考とする様に取り組んでいく様にする。 ・コロナ禍も3年目に入るので、コロナ感染の収束している時期を上手に利用して、行事を入れていきたい。保護者が参加しての行事を令和4年度は令和3年度よりも多く行っていきたい。密にならない様に工夫しながら時期を選んで行う様に努力する。 	A

☆…令和3年度学校関係者意見

- ①…コロナ禍の中、園の行事がなかなかできない事がさみしいと思いますが、先生達は工夫しながら幼児教育に取り組んでくれているのがわかります。
- ②…本年も、教育目標の「元気に遊ぶ子」…を目標に子どもに寄り添い、子どもひとりひとりに、丁寧な保育をしてきているのが伝わってきました。
- ③…「コロナ禍」での保育は子どもと保護者を守る為に、とても大変であると思います。先生方もご苦労が多いと思いますが引き続き頑張ってください。
- ④…子ども達の就学先の小学校とよく情報の交流をしてきていると思います。コロナ禍の折、園児と児童の交流はなかなか困難ですが、園と小学校とが情報での交流を進めてくれることで、就学に不安がなくなります。（安心して就学ができます。）
- ⑤…早くコロナが終息し、マスク無し、パーテーション無しの幼稚園生活に戻れます様に願います。

☆…学校関係者評価を受けて

- ①…本年も幼稚園（認定こども園伊久身幼稚園）に対し、良い評価を頂きうれしいです。本年もコロナ禍ですが、各行事の在り方を見直し園児にとって何が大切かを話し合いながら進めていきたいと思います。
- ②…本年も認定こども園島田中央幼稚園・みどりこども園と交流をしてお互いの良さを話し合い幅広く豊かな経験をして行きたいです。また、子ども達の就学先の各小学校とも連携を作り安心して就学できるようにしていきたいと思います。子ども同士の連携が可能でない場合は、情報の交換を深めていきたいと思います。
- ③…自然を取り入れた保育をする中で、生命の大切さ・物の大切さを繰り返し、引き続き教えていきたい。また、使った物を元の所に整えて返却する習慣と自分で作った物を大切にすることを付けていきたい。（SDGsへも貢献し環境を守ることを知らせる。）
- ④…保育教諭が日々の反省をしっかりとし、明日の保育を考え、これから生きていく子ども達と真剣に向き合い、心豊かな子どもに育てる様に努力をし取り組んでいきたい。また、クラスの中で問題が起きた時には、担任一人が問題を抱えない様に園の風通しの良い雰囲気の中で受けとめ、考えていきたい。
- ⑤…保護者には子どもの良い所を伝え、子どもの自己肯定感を保育教諭と共に育てる様にする。どの子もかけがえのない存在であることを伝え、特に多忙すぎる保護者に対しては、おやこんぼの日などにおやこんぼの時間を大切にしてもらう様にする。
- ⑥…急な地震や火災やその他の防災訓練・不審者対策・交通安全指導など今まで同様に細部に渡り、訓練を重ねていきたい。訓練後の反省をしっかりと次への訓練に生かしていきたい。
- ⑦…「コロナウイルス感染拡大防止」については、まだまだ情報が次から次へと変化してくる。「オミクロン株」から「BA2」・他になりさらなる変化が予想されるので、情報をしっかりとキャッチしてこれからは感染予防に努めていきたい。

(付) 父母アンケートより意見・提言・要望

- ・子どもが幼稚園から借りてきた本を何度も何度も読み聞かせをしています。絵本の楽しさと奥深さに改めて感動しています。
- ・伊久身幼稚園の先生方が、全園児のことをよく把握してくださり、園に行った時にはいつも声をかけてくださりうれしいです。子どもが生き生きとしています。
- ・園舎裏の工事が長引き大変ですね。長年に渡り、畑が作れず心配していましたが、園庭の北側に畑ができてうれしいです。令和4年度は、野菜を沢山作ってください。（ナス・トマト・ピーマン・キュウリ・玉ネギ・サツマイモなど挑戦してください。）
- ・コロナ禍であったので、令和3年度も行事が減少し、少し寂しく…保護者会での活動も物足りなく感じました。このご時世ですので、仕方がないと存じていますが、令和4年度はもう少し何とか保護者会での活動を活発にし、園に協力していきたいと思っています。